

令和7年10月3日（金）

令和7年度
学校だより
第4号

久高小・中

久高だより

南城市立
久高小中学校

発行者
校長 山田 浩也

【学校教育目標】

○よく考え進んで学ぶ児童生徒 ○粘り強く思いやりのある児童生徒 ○心身ともに健康な児童生徒

X₂-10X-75=0を解け！（校内研修：一人1研究授業）



本校では「主体的に学ぶ自立した学習者の育成」（個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業づくり）を校内研修テーマに掲げ、各教科の授業を担当する一人ひとりの教師が、「一人1研究授業」を実施し、授業力の向上を図っています。去った9月16日（火）に中学3年生の数学の研究授業を行いました。単元名は「2次方程式」でした。2次方程式の解き方には①平方根を利用する。②因数分解で解く。③二次方程式の解の公式を使う。などの三つの解き方があり、各個人がどの方法で解くか選択し、その後ICTを使ってクラス全体で意見を共有し、解法を検討しました。「公式を使えば確実に答えが出せる。」「2次方程式の数字を出し入れして、平方根を利用すれば問題が早く解け、テスト時間の短縮につながる。」などの声が聞かれました。

職場体験・上級学校訪問



9月24日（水）から25日（木）にかけて中学1年生と中学2年生は職場体験を実施しました。職場体験先は地元の海ぶどう養殖場、塩工場、幼稚園そして南城市にあるリゾートホテルでした。生徒の皆さんは先日9月12日に行った、マナー教室が参考になったようです。また中学3年生は上級学校（県立の高等学校）の訪問を行いました。訪問先は沖縄水産高校、真和志高校、南部商業、南部農林を訪問しました。上級学校の訪問により生徒の皆さんの卒業後の進路への意識も高まってきたと思います。

八月マティー（みんなの健康と安全を願って）

毎年、久高島では旧暦の8月10日から（今年は10月1日（水）から10月3日まで）3日間行う「八月マティー（ハティグッティマッティ）」という神事が久高殿にてありました。八月マティーでは神女の方がお祓いをして島民の安全や健康祈願を行います。久高島では旧暦の八月は、一年の中で最も悪い月といわれています。（本土で10月は神無月と言い、西洋では10月にハロウィンがありますね。）特に2日目が「ヨウカビー」と言い、1年の中で最も悪い日とされています。各家々では「シバサシ」と呼ばれる（魔除け）をさします。そして、悪霊退散のお祓いを行います。お祓いの後、踊りがあり、「酒三合」という各戸廻りがあります。三日目には浜で相撲大会が予定されています。八月マティーは、久高島で旧正月と同様、大きな行事で、別名「八月正月」と言われています。この神事の中には、全校児童生徒と職員も参加し、健康・安全祈願を行いました。

